



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年5月2日

上場会社名 株式会社ダイナック 上場取引所 東
 コード番号 2675 URL https://www.dynac.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若杉 和正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括本部長 (氏名) 保坂 孝徳 TEL 03-3341-4216
 管理本部長 法務・総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の業績（平成30年1月1日～平成30年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	8,088	△0.9	△261	—	△83	—	△90	—
29年12月期第1四半期	8,166	△1.2	△59	—	△61	—	△55	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	△12.84	—
29年12月期第1四半期	△7.84	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	13,790	4,322	31.3
29年12月期	14,056	4,457	31.7

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 4,322百万円 29年12月期 4,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期（予想）	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	17,600	1.2	80	△45.9	220	52.8	110	△13.1	15.64
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は平成30年12月期第3四半期から持株会社体制移行に伴う連結財務諸表作成会社となるため、平成30年12月期通期の個別業績予想の公表を控させていただきます。なお、平成30年12月通期の業績につきましては、平成30年2月2日公表の「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年12月期 1 Q	7,033,000株	29年12月期	7,033,000株
30年12月期 1 Q	254株	29年12月期	254株
30年12月期 1 Q	7,032,746株	29年12月期 1 Q	7,032,746株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、基調としては緩やかな回復を続けており、企業収益は当面底堅く推移する見込みであるものの、海外の政治・経済動向に不透明感が残るなど、先行き不安定な状況が続いております。

外食業界におきましても、個人の消費マインドは緩やかな回復傾向にあるものの、賃金の伸び悩みや将来不安等を背景とした消費者の節約志向の高まり、原材料価格の高止まり、人材不足による採用難、天候不順の影響等により、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況の下、当社は「お客様の感動満足」を起点とした更なる会社の成長の実現に向け、高付加価値業態の更なる展開、既存盛業業態の進化型ブランドの開発など、当社事業の強みを活かした収益基盤の強化に取り組むとともに、食に対する安心・安全の追求及びお客様に最高の商品・サービス・環境をご提供できる店づくりを心がけてまいりました。

当第1四半期累計期間におきましては、鉄板料理を中心としたコース和食とソムリエ厳選の豊富なワインセレクションが醍醐味の「萬鉄（ばんてつ）」など、ゴルフ場レストランを含め3店舗を新規に出店しました。また、既存の1店舗を昨年出店しました新業態「ポルチェリーノ」に業態変更する一方で7店舗を閉店し、当第1四半期会計期間末の店舗数は253店舗（業務運営受託店舗6店除く）となりました。

当第1四半期累計期間における業績につきましては、売上面では創業60周年記念の特別メニューキャンペーンを実施するなど様々な販売促進活動を行ったものの、天候不順の影響もあり、売上高は8,088百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

利益面では、厳しい経営環境に備え、より一層店舗管理コストの最適化に努めるとともに、店舗の改装等に伴う営業補償金の受入もありましたが、採用難による人件費増の影響等により、経常損失は83百万円（前年同期は経常損失61百万円）、四半期純損失は90百万円（前年同期は四半期純損失55百万円）となりました。

当該事業の形態別業績は以下のとおりです。

レストラン・バーの売上高は7,299百万円（前年同期比1.4%減）、売上総利益は677百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

ケータリングの売上高は223百万円（前年同期比7.5%増）、売上総損失は4百万円（前年同期は売上総利益14百万円）となりました。

その他の売上高は565百万円（前年同期比1.7%増）、売上総利益は85百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は13,790百万円となり、前事業年度末と比べ265百万円の減少となりました。その主な増減内容につきましては、以下のとおりです。

流動資産は、前事業年度末と比べ337百万円の減少となりました。これは主に売掛金が207百万円、現金及び預金が158百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べ71百万円の増加となりました。これは主に建物が100百万円、工具、器具及び備品（有形固定資産「その他」）が24百万円それぞれ増加した一方で、繰延税金資産（投資その他の資産「その他」）が43百万円、敷金及び保証金が13百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末と比べ130百万円の減少となりました。これは主に借入金が755百万円、賞与引当金が212百万円それぞれ増加する一方で、買掛金が456百万円、未払法人税等が356百万円、未払費用が210百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末と比べ134百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が132百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末より0.4ポイント減少の31.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績予想につきましては、平成30年2月2日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	684,083	526,049
売掛金	2,181,315	1,974,081
商品	60,847	43,118
原材料及び貯蔵品	227,409	197,083
その他	821,637	896,374
貸倒引当金	△26,000	△25,000
流動資産合計	3,949,293	3,611,707
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,897,637	3,998,483
その他(純額)	679,633	712,502
有形固定資産合計	4,577,271	4,710,985
無形固定資産		
	219,243	209,270
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,550,824	4,537,194
その他	1,003,260	964,641
貸倒引当金	△243,582	△243,241
投資その他の資産合計	5,310,502	5,258,594
固定資産合計	10,107,017	10,178,849
資産合計	14,056,310	13,790,557

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,514,501	2,057,708
短期借入金	902,500	1,672,500
1年内返済予定の長期借入金	85,000	85,000
未払法人税等	424,048	67,170
未払費用	2,283,698	2,073,446
賞与引当金	-	212,240
役員賞与引当金	17,890	6,875
資産除去債務	68,478	23,009
その他	971,986	946,906
流動負債合計	7,268,102	7,144,856
固定負債		
長期借入金	257,500	242,500
退職給付引当金	1,265,325	1,266,580
資産除去債務	749,616	755,858
その他	58,717	58,649
固定負債合計	2,331,158	2,323,588
負債合計	9,599,261	9,468,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,741,625	1,741,625
資本剰余金	965,175	965,175
利益剰余金	1,737,379	1,604,863
自己株式	△331	△331
株主資本合計	4,443,848	4,311,331
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,201	10,780
評価・換算差額等合計	13,201	10,780
純資産合計	4,457,049	4,322,112
負債純資産合計	14,056,310	13,790,557

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	8,166,158	8,088,808
売上原価	7,266,769	7,330,606
売上総利益	899,388	758,201
販売費及び一般管理費	958,905	1,019,750
営業損失(△)	△59,516	△261,548
営業外収益		
受取利息	346	172
受取補償金	-	173,844
その他	1,573	7,282
営業外収益合計	1,919	181,298
営業外費用		
支払利息	2,142	1,845
その他	1,536	906
営業外費用合計	3,678	2,751
経常損失(△)	△61,275	△83,001
特別損失		
固定資産除却損	4,935	16,808
店舗等撤退損失	5,570	536
特別損失合計	10,505	17,344
税引前四半期純損失(△)	△71,781	△100,346
法人税、住民税及び事業税	16,235	13,387
法人税等調整額	△32,878	△23,413
法人税等合計	△16,643	△10,026
四半期純損失(△)	△55,137	△90,319

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。